議　事　概　要

◎　委員会の所管事務に係る調査について

・今年度の本委員会の所管事務に係る調査を実施するかどうかについて、各会派から意向聴取。

維新：　意向あり。
調査項目は「副首都・大阪の実現に向けたスマートシティ戦略」「万博レガシーを見据えた国際交流の在り方」の２項目。

公明：　意向なし。
緊急に取り組むべき案件がないこと、住民から当委員会の所管業務に係る陳情が届いていないこと、また、今年度が改選期であり、年度を通した調査が難しく、９月定例会までの調査についても、市町村要望等の時期と重なること等の事情を踏まえ、委員会ではなく会派や個人で調査することが適切。

・提案のあった調査項目に対し質疑応答。

公明：　テーマが大きいと感じている。スマートシティでも様々な分野があるが、どの分野について調査を希望するのか。また、参考人の候補があれば教えてほしい。

維新：　副首都の議論がされている中、大阪がどうあるべきかを調査したい。
参考人候補者としては、まだ打診はしていないが、KPMGコンサルティングの規制改革領域の担当者を考えている。先端技術に関する事業改革、産学官民の推進組織経営を専門とし、新しいテクノロジーの社会実装を横断的に支援している方である。

委員長：「万博レガシーを見据えた国際交流の在り方」の調査の詳細は。

維新：　調査項目のみで、参考人候補については未定。

公明：　調査の実施の有無については持ち帰りたい。

・持ち帰りの意向があったため、次回の代表者会議については、正副委員長で調整し、追って連絡。